

| | | | | | |
|------|--|--|----|-----|---|
| No. | 607 | <h1>ジェルキャンドル</h1> | | | |
| 概要 | ガラスの器に砂を敷いたり、ビー玉や貝殻などの飾りを入れたりした後、ジェルを流し込んで固めてオリジナルキャンドルを作る。 | | | |  |
| 内容 | 人数(人) | ~40人 | 時間 | 2時間 | |
| | 対象 | 小3以上 | 時期 | 通年 | |
| | 場所 | 創作室(第1・第2) | | | |
| | 指導形態 | 自主活動 ・ 事前の説明のみ ・ 直接指導 | | | |
| 安全管理 | 引率者と担当職員による観察と指導 | | | | |
| ねらい | ○ 飾りなどの組み合わせやジェルの色や流し方を工夫し、制作することの楽しさや喜びを感じる。 ○ 互いの作品の工夫や表現を共有する。 | | | | |
| 準備 | 施設から貸出 | ・用具一式 (カセットコンロ、ホットプレート、なべ、やかん、ピンセット、アルミ箔、両面テープ、割り箸、軍手等) ・飾り(砂、ビー玉、貝殻等) ・染料液 | | | |
| | 団体で準備 | * 事前に「教材等申込書」で注文。 ○ ジェルキャンドルセット(キャンドル用ジェル、グラス、着火用芯) * 飾りとして入れたい物(不燃性、耐熱性の物)があれば、各自で準備。 | | | |
| | 確認事項 | 飾りとして、別途「プラ板」を事前に制作しても良い。(別途制作時間が必要。) ジェルの性質によっては、ホットプレートで溶かした方がよいものもある。要確認。 | | | |

| | 内 容 | 留意事項 |
|-------|--|--|
| 活動前 | ○ 担当職員との打ち合わせ ・活動のねらいの共有 ・参加人数、グループ編成 ・安全管理 等 ○ 注文した教材の受け取り ・種類と個数を確認し、研修場所に持って行く。 | ○ 安全管理 ・引率者と担当職員が一緒に行く。 ・火傷等への配慮をする。 ○ 教材 ・返品可能(特別なものを除く)。 |
| 活動の説明 | ○ 職員による説明 ・制作手順 ・注意事項 ・道具と教材の取り扱い方 ○ 道具の準備 | ○ 安全上の注意 ・ガス缶、コンロの取扱注意。 ・大人と一緒に作業する。 ・適宜、換気をしながら作業する。 ・軍手を適宜使用し、火傷に注意する。 |
| 展 開 | ○ 制作 1) 砂や飾りを入れる。 ・着火用芯をガラスの底に付ける(立てる)。 ・ガラスの中に好きな色の砂を入れる。 ・砂の上に飾りを飾る。 2) ジェルを溶かす。 ・キャンドル用ジェルを必要な分量だけ湯煎して、溶かす。 ・(染料を加える場合)湯煎したジェルに数滴加え、かき混ぜる。 ・冷めて固まったら、繰り返しまた湯煎で溶す。 3) ジェルを流し入れる。 ・溶けたジェルを少し冷まし、グラスに注ぎ入れる。 ・ジェルが冷めて固まったら、出来上がり。 ○ 片づけ、掃除 ・道具の返却、整頓 ・机、床、流し周辺の掃除 ○ ふり返り ・作品鑑賞 ・感想 ○ 研修室の点検、退室 ・椅子を机の上に並べる。 | ○ 制作のポイント <ジェル> ・かき混ぜると気泡が入るので、好みの出来栄に加減して混ぜる。 ・半量固めて飾りを追加する等、何層かに分けてグラスに注ぐことも可。 ・火にかけたまま放置しない。 (ジェルは煙が出るくらい高温になると、黄色く変色する。) <飾り> ・可燃物は使用しないこと。 (ジェルが高温になるため。) |